

私立大学図書館協会 西地区部会
中国・四国地区協議会 2013年度総会
議事要録

日 時：平成25年4月19日(金) 9:00～11:10
会 場：公立学校共済組合高知宿泊所 高知会館3F飛鳥
理事校：四国大学
出席者：27校 42名

- ・挨拶（理事校） 四国大学附属図書館 館長 西尾 幸郎
- ・議長選出 慣例により地区理事校の館長（四国大学附属図書館 西尾 幸郎）が選出された。
- ・自己紹介 参加者全員の自己紹介を着席順に行った。

議事

I. 報告事項

地区理事校の四国大学（吉田）から、「総会資料」3～16ページに基づき以下の報告が行われ、主要事項については、議長から関連資料に基づき説明があった。

なお、報告事項のうち2012年度中国・四国地区研究会と2013年度西地区部会研究会についてはそれぞれ開催当番校から報告があった。

1. 中国・四国地区関係

- 2012年度 中国・四国地区協議会 会務について
- 2012年度 中国・四国地区協議会研究会について：「総会資料25～26 p」（松山東雲女子大学報告）

2. 西地区部会関係

- 2012年度 西地区部会 会務について
- 2013年度 西地区部会総会について
- 2013年度 西地区部会研究会（案）について：「総会資料9p」（岡山理科大学報告）
- 2013年度 西地区部会予算（案）について
- 2013年度 西地区部会 関連行事日程（予定）について
- 2013年度 西地区部会 役員校について
- 2013・2014年度 西地区部会 当番校について

3. 私立大学図書館協会関係

- 2012年度 私立大学図書館協会 会務について
- 委員会について
- 2013年度事業計画について
- 2013年度 私立大学図書館協会 役員校について

II. 協議事項

【第1号議案】2013年度（第43回）私立大学図書館協会 中国・四国地区研究会について

2013年度研究会責任幹事校の広島国際大学から「総会資料」17～18ページに基づき、2013年度私立大学図書館協会中国・四国地区研究会の開催案が提案された。参加費については第3号議案と関係するため、後ほど協議することとし、それ以外の部分について承認された。なお、同研究会の開催日程等はつぎのとおり。

- 日程：2013年9月5日（木）、6日（金）
- 会場：広島国際大学 広島キャンパス（広島市中区鞆町1-5）
- 幹事校：広島国際大学

【第2号議案】2014年度 私立大学図書館協会 中国・四国地区研究発表校について

理事校（四国大学 美馬、以下「理事校」）から「総会資料」18ページと48ページに基づき、2014年度私立大学図書館協会中国・四国地区研究発表校について、輪番、申し合わせに基づき3校が提案された。続いて、岡山学院大学の退会を反映し、発表校を一年繰り上げる内容で岡山・鳥取地区輪番表の更新について岡山理科大学から総会資料50ページに基づき説明があり、協議の結果、下記のとおり承認された。

また、岡山・鳥取地区の輪番表調整の経緯についての確認があった。

- 岡山・鳥取地区 中国学園大学
- 広島・山口地区 安田女子大学
- 四国地区 聖カタリナ大学

【第3号議案】2013年度 中国・四国地区研究会における参加費補助について

理事校から「総会資料」18ページと24ページに基づき、協議会繰越金が減少し、2012年度は中国・四国地区研究会の情報交換会補助は行わないことが承認されている、本年度もその経緯を踏襲せざるを得ない状況に変化はないが、研究会への参加者増を図るため参加費の補助を行いたい旨の提案があり、協議の結果、承認された。

本案件の承認により、上記第1号議案に係る参加費は無料とすることとした。

【第4号議案】2018年度私立大学図書館協会西地区部会研究会について

理事校から「総会資料」18ページに基づき、私立大学図書館協会役員校等担当に関する申し合せにより、2018年度の西地区部会研究会開催当番校が四国地区（2005年度中国・四国地区協議会総会承認）となっている旨の説明があった。

続いて理事校事務局（山本）から、本案件について四国地区で協議した結果、開催当番校を四国学院大学とし、以下の条件で運営したい旨の提案があり、協議の結果、承認された。

- 現時点では、四国学院大学を開催当番校とするが、高松大学と四国大学（山本）が協力し運営を行うこと。

III. 確認事項

理事校から「総会資料」19ページに基づき、前総会までの了承事項について説明があり、以下の事項が確認された。

1. 2013・2014年度 私立大学図書館協会役員校・当番校（中国・四国地区関連）
 - 理事校 四国大学
 - 総会・研究大会当番校 岡山理科大学
 - 西地区部会研究会当番校 岡山理科大学
2. 2013・2014年度中国・四国地区協議会研究会幹事校
 - 広島・山口地区 2013年度責任幹事校(研究会開催校) 広島国際大学
 - 岡山・鳥取地区 2014年度責任幹事校(研究会開催校) 山陽学園大学
3. 2015・2016年度私立大学図書館協会役員校・当番校（中国・四国地区関係）
 - 中国・四国地区協議会理事校 就実大学・就実短期大学
 - 2016年度西地区部会総会当番校 福山大学
4. 2015・2016年度中国・四国地区協議会研究会幹事校
 - 四国地区 2015年度責任幹事校(研究会開催校) 徳島文理大学
 - 広島・山口地区 2016年度責任幹事校(研究会開催校) 広島国際学院大学

IV. その他

以下の質疑応答があった。

1. 協会退会のデメリットについて
 - 広島経済大学から、協会を退会すると図書館間の協力等でデメリットが生じることとなるが、理事校から協会退会に際してはそのデメリットを適切に説明して欲しい旨の意見があった。
 - 議長から「総会資料」30ページと4ページを参考に説明があり、本年度の退会は私立大学図書館協会総会で承認される予定だが、今後、諸般の事情による退会届が加盟館から出されたときには、適切に対応することとした。
2. 会長校からの連絡メールについて
 - 川崎医科大学から、前会長校（立教大学）は文部科学省からの図書館関連通知を加盟館へ適切にメールで連絡し、その内容から様々な情報を得ることができたので、2013年度以降もよりわかりやすい内容のメールで連絡をお願いしたい旨、現会長校へ依頼して欲しい旨の意見があった。
 - 事務局から、会長校へ伝えることとした。
3. 協会メーリングリストに添付するデータのサイズについて
 - 美作大学から、今後の協会連絡はメールで行うことが一層推進されるようだが、「総会資料」32ページの申し合せ記載項目には「MLで使用できるメールのサイズは1通あたり50KB以下に制限」という記載がある。これは2005年当時の実情だと推測するので、現在の許容範囲への変更を検討すべきだとする意見があった。
 - 議長から、参加大学の実情を尋ねたところ、5MBや3MBを範囲とする大学があり、今後調整を行い次年度の中国・四国地区総会で改正提案を行うこととした。

・閉会の挨拶 四国大学附属図書館 館長 西尾 幸郎

以 上